

### さつき

5月のことを「さつき」といいます。その語源は「早苗をとる月」がちぢまったという説と5月は幸の多い月すなはち「幸月」であるという説があります。

# 三股町報

# 65.5

No. 22

発行 三股町  
編集 総務課



完功成つた町体育館

## 三股町体育館等

昭和三九年度事業

## 総合落成式、盛大に終る

私達の三股町は、昨年度を町勢飛躍の年として積極的に各種の施策を遂行して参りましたが、その成果は見るべきものがあり、飛躍の度合いは広く耳目を集めるにいたっております。

その総合落成式が去る四月一七日町内外有志多数参加のもとに盛大に挙行されました。

式は神事、各種の表彰等を含めて盛大且つ厳しゆく裡に進められました。そのあと多種多芸にわたって華やかな演芸等も繰り広げられて、祝賀ムードはいやが上にも高まり、これを契機として更に融和、団結、愈々躍進への気運ほうふつたるものが感じられました。

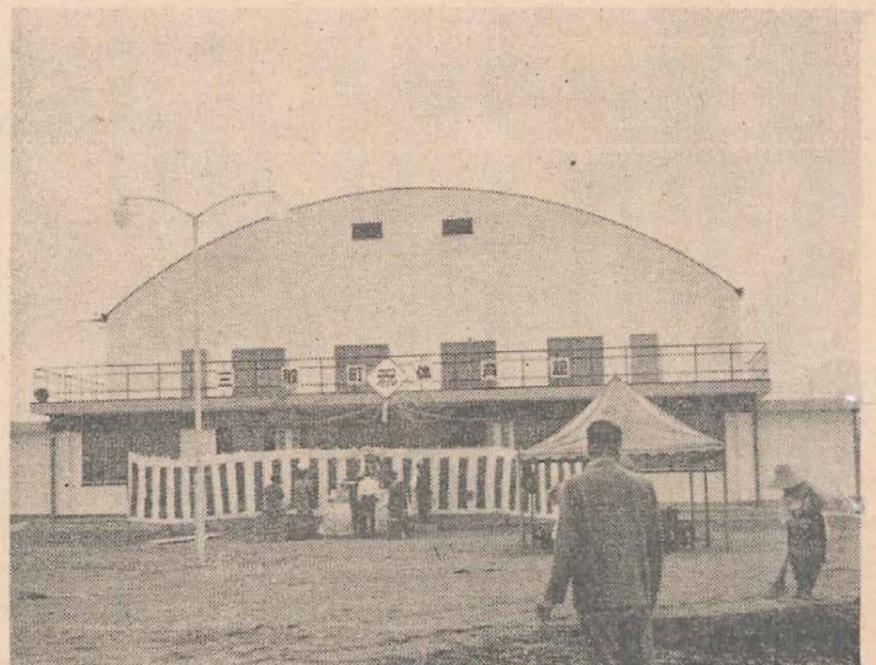
昭和三九年度事業の主なる成果を見てみますと、近代的設備を誇る建坪二五四坪の町体育館をはじめ、三股小鉄筋校舎（本年度分、二五二坪）、三六戸の町営住宅（総計二五八戸）、その他校長住宅四戸などが完

成しております。

道路整備事業としては都三道路五五二米の舗装延長、山王原上米線三五九米の舗装、町道についてはその外、今市線外一一路線の改良、更には宮村並木線等一九、二四七米に及ぶ補修事業等が着々整備を見ております。

県道においては坂元線の改良、舗装並びに荒口橋の永久化等、予想以上の伸びを示し、又、三股荘内線の新馬場立体橋の完成、山王原新馬場部落内の舗装化、

又、三股今町線の宮村小学校下附近の第四種簡易舗装の完成、そして更には前目、蓼池を通ずる二級国道に至っては蓼池部落内全域舗装



正面より見た  
体育館

の完成を見ております。

次に農業構造改善事業は総面積四二ヘクタールに及ぶ乳牛育成放牧場の完成を見、その他農用機械の購入、機械格納庫、みかん防除施設、家畜管理所、集乳所等着々農業近代化施設の充実を見ております。

耕地災害復旧事業に至っては実に町内三七地区に及ぶ復旧工事が竣功しております。

このようにして簡単に昭和三九年度の事業概要をふり返って見ましても私達の郷土が急速に明るく美しくその姿を変えつつあることがうなずけます。

昭和40年度

# 三股町一般施政方針

**協和の町政を基調として**  
**意欲的に創意工夫**  
**躍進二股の建設に邁進したい**

三股町長 大河内利雄

私は昭和三十三年町政を担当いたしました以来、「協和の町政」をモットーとして、政を運営し、

昭和四十年における政  
 府予算を見ますに、引続  
 き安定した経済の成長を確  
 保するための施策が基調と  
 なっているものと考える次  
 第であります。

このような国の予算や、  
 先般発表されました地方財  
 政計画を背景とした客観状  
 勢のもとに、昭和四十年  
 における本町財政の見通し  
 といたしましては、ここ数  
 年来財政的にも飛躍して参  
 りました状況に比べ、非常  
 にきびしい環境と条件が予  
 想されるのでありますが、  
 私は財政運営の基本的態度  
 といたしまして、その健全  
 且つ適正化を図りながら、  
 当面する課題を意欲的に取  
 り組み、あらゆる創意と工  
 夫をこらして、次のとおり  
 重点的施策を遂行し、住民  
 の福祉増進に邁進いたす所  
 存であります。

近年高度成長を続けてき  
 ました国民経済の動向とい  
 ましたしては、政府におい  
 て、国際収支の改善と、物  
 価の安定を図るため、一昨  
 年来より経済の引締めを基  
 調とし、安定成長を旨とす  
 る経済の運営がなされてき  
 ましたことは、御承知のと  
 りであります。

産業の発展と都市発展の  
 基盤は、道路の整備にある  
 と言われております。  
 道路の整備につきましては、  
 は、予ねてから特に力を入  
 れてきたところであります  
 て、最近町内の主要道路は  
 舗装工事と改良工事が進み  
 又、部落内道路にありまし  
 ても、地域住民の積極的な  
 御協力によりまして見違え  
 る程に整備され、町の発展  
 に大きく寄与してございま  
 す。今後更に都市計画事業  
 を実施いたしまして都三道  
 路、山王原上米線の舗装を  
 施行すると共に、失業対策  
 事業の施行によりまして、  
 各部落内道路の整備を實施  
 する一方、県営事業の施行  
 を更に推進いたしまして、  
 坂元線をはじめ町内県道主  
 要箇所の舗装と改良整備を  
 図って行く所存であります

文教施策は  
 積極的に  
 教育の振興につきましては  
 は、学校教育における内容

の充実を図ると共に、社会  
 教育の面におきましては、  
 地区公民館制度の實施を推  
 進し、その振興を図ってき  
 ておりますが、就中教育施  
 設の整備は、文教振興上最  
 もゆるがせに出来ない問題  
 でありまして、従来から町  
 内各学校の校舎整備を行な  
 っております。

校舎改善事業といたしま  
 しては、昨年度における三  
 股小学校の改善を以て、一  
 応危険校舎の改善整備を終  
 りましたので、本年度にお  
 きましては、東中学校体育  
 館の建設をはじめ、三股中  
 学校のプール建設を計画し  
 て、教育施設環境を整備す  
 ることに致しております。

政治の要諦である  
 福祉増進を強力に  
 住みよい生活環境をつく  
 り、住民の福祉を増進する  
 ことは政治の要諦であると  
 信じます。

更に農業近代化  
 へ第二次農業構  
 造改善の計画を  
 本町は農業所得の隔差を  
 是正し、その近代化を推進  
 するため昭和三十八年度か  
 ら農業構造改善事業を實施  
 しておりますが、本年度は  
 その第三年度として実施

町民の健康増進につきま  
 しては、国民健康保険制度  
 の拡充、病院経営と相俟つ  
 て町民生活環境の整備を推  
 進することとし、町の水道  
 事業を更に普及推進し、南  
 部地区水道建設工事を施行  
 いたしまして、町民福利の  
 増進を図ってゆく考えであ  
 ります。

町政の運営は  
 自ら陣頭に立って  
 以上昭和四十年におけ  
 る一般施政の方針について  
 御説明申し上げましたが、  
 この町政運営にあたりまし  
 ては、町の機構を再検討い  
 たしまして充分にその機能  
 が発揮できるよう配慮いた  
 しまして陣頭に立ち、「躍  
 進三股」の建設に邁進いた  
 す覚悟であります。

台風常襲地帯としての本  
 町は、年々台風や水害の被  
 害を受け、公共施設や耕地  
 関係の施設にばく大な災  
 害を受けておりますので、  
 今後これが災害復旧の促進  
 を図りつつ、農家負担を排  
 除して施設の復旧整備に努  
 める所存であります。

農家負担を  
 排除して災害  
 復旧を促進する

逐次工場の誘致や、その他  
 の施設が整備される一方、  
 年々公営住宅の建設により  
 まして町の形態はその面目  
 を一新しつつあります。  
 今後は更にこの方面に力  
 を入れ、地域社会の発展を  
 図り公営住宅の建設を推進  
 する所存であります。

## 三股町の算 当初予

一般会計二億五千五百万円  
 特別会計を含めた  
 総予算四億一千七百万円

昭和40年度

私達の三股町は全町民の  
 融和と団結を基盤として、  
 終始「協和の町政」を高くか  
 けて各分野にわたって、  
 積極的な施策を遂行し、愈  
 々輝ける未来の町の建設に  
 邁進しております。

それではより美しい郷土  
 を築くためにその根幹であ  
 ります昭和四〇年度の町の  
 予算はどんな風に編成され  
 ているか、一般会計を中心  
 にして当初予算の概要を一  
 緒に見てみることにいたし  
 ましょう。

先ず一般会計ですが図表  
 1をごらん下さい。  
 才入の部において一番大  
 きいのは地方交付税で、こ  
 れは自主財源の少ない貧乏な  
 町村に対して国から交付さ  
 れる金のことですが、これ  
 が全体の三五%強にも達し  
 ております。

次に多いのが町がいろい  
 ろ実施する事業に補助金と  
 して国から流れてくる国庫  
 支出金が二〇%強となつて  
 おります。

私達が直接納める町民税  
 固定資産税などの町税は三  
 番目に多く全体の一三%強

を示しております。  
 次に多いのが県費補助金  
 即ち県支出金ですが、ぐつと  
 おちまして九%弱となつて  
 いるようです。

次に町が各種事業をおこ  
 す場合に借金をおこします  
 がその町債が九%弱、以下  
 諸収入、使用料及び手数料  
 寄附金などの順となっております。

それでは次に図表2、才  
 出の方を見てみましょう。  
 先ず産業経済の基盤であ  
 ります道路の整備について  
 は今年度も更に力を傾注す  
 る意図がうかがわれます。  
 即ち都三道路、山王原上米  
 線、その他の町県道の改良  
 等、又これ等と併行して今  
 年度も更に三六戸の住宅が  
 建設されますが、これ等に  
 要する土木費が一八%強に  
 も達し第一位を占めている  
 ようです。

第二位が三股中プール、  
 東中体育館、握山公民館建  
 設費などが含まれている教  
 育費が第二位で一八%弱と  
 なっております。

農業構造改善事業、土地  
 改良事業その他各種の農業

振興経費に当てる農林水産  
 業費が同じく一八%弱で第  
 三位に位しているようで  
 す。

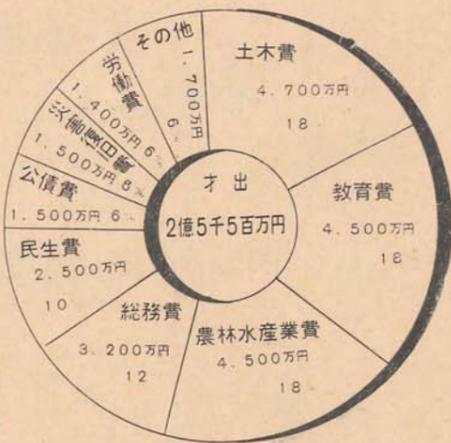
次が一般的な役場事務費  
 の総務費で一二%強、第五  
 番目に多いのが民生費で一  
 〇%弱、各種社会福祉事業  
 や国民年金費などが含まれ  
 ております。

次に今まで各種の事業に  
 対する町の借金の返済にあ  
 てる公債費が六番目で六%  
 強を見ております。  
 第七位が町内二五地区に  
 およぶ耕地災害後旧事業に  
 あてる災害後旧費で六%弱  
 ついで一般失業対策事業等  
 の労働費、そして衛生費、  
 議会費、商工費、消防費、  
 予備費の順となっております。

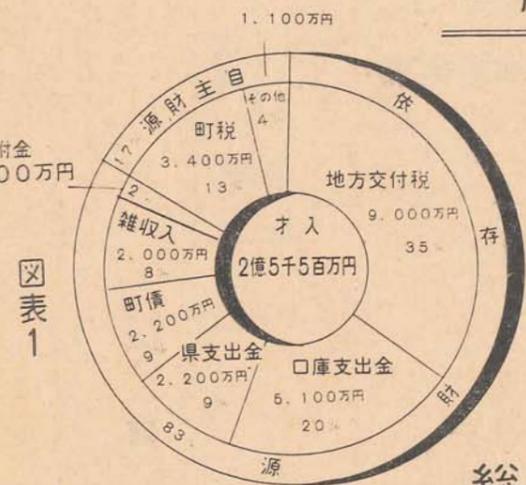
以上が一般会計の歳入、  
 歳出の当初予算概要です。  
 尚一般会計の外にその事  
 業目的によって水道、農業  
 共済等六つの特別会計があ  
 りますがその予算額と比率  
 は表1、図表3のとおりで  
 す。

## 一般会計

図表2



## 総予算



図表3

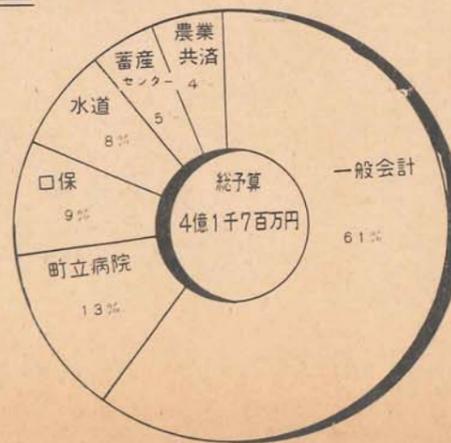


表1 会計別当初予算額 (単位千円)

| 会計     | 金額 (千円) |
|--------|---------|
| 一般会計   | 255,174 |
| 水道     | 34,742  |
| 農業共済   | 14,572  |
| 畜産センター | 19,134  |
| 国民健康保険 | 38,234  |
| 町立病院   | 54,318  |
| 公益質庫   | 1,316   |
| 計      | 417,490 |

# 各課(事務局)配置図

## 役場の各課(事務局)の 配置が一部変わりました

四月一日附けをもって、一部役場の機構改革が行なわれ、それに伴って各課事務局の配置が左の図のように変わりました。  
各課事務局の配置をよくおぼえて頂いて来庁の折はスムーズに用務を片づけて下さい。

